

## 大田区自立支援協議会 第1回相談支援部会要旨

文責：事務局一部修正

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第1回相談支援機能の視点部会				
(2) 開催日時	令和元年6月21日(金) 9:30~12:00				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター5階 多目的室				
(4) 出席した委員、事務局等	委 員 <span style="float: right;">&lt;敬称略&gt;</span>				
	神作 彩子	古怒田 幸子	鈴木 啓太	伊藤 朋春	関屋 慶子
	茂野 俊哉	田中 隆博	大窪 恒	小嶋 愛斗	石川 洋平
	細谷 英一	笠井 紋子	田中 裕子	土屋 かおり	井岡 幸子
	中村 多恵子				
	事務局：要 理恵子、須藤 成政、矢島 千恵、滝本 裕弥、柳田 実希、 江川 奈保美				
欠席者：吉田 昭子					
(5) 内容・要旨	<p>1 障がい者総合サポートセンター次長挨拶</p> <p>2 連絡確認事項</p> <p>(1) 部会長選任の確認 第1回本会にて白井会長より、障がい者総合サポートセンターの神作部会長が選任されたことを確認。</p> <p>(2) 資料の確認</p> <p>(3) 自己紹介 委員名簿を参照に、各自自己紹介を行う。</p> <p>3 本日の検討課題</p> <p>(1) 昨年度からの経過の報告と共有 昨年度から今年度の大きな変更点として、部会体制が5部会体制から3部会体制となった。この経過の中で、昨年度各部会で検討していた課題はきちんと引き継ぐ形をとっていきたいと考えている。 部会体制変更の経過説明と、これまで自立支援協議会に関わってきた方やこれから関わる方との意見交換を行うため、5月27日に全体合同部会を実施した。実施後、参加者からのアンケート等も参考に、各専門部会委員(のみ委員)が推薦された経過がある。 相談支援については、永続的に検討しなければいけない課題である。それが相談者個人の課題なのか、地域全体の課題なのか、整理しつつ検討していくことが必要である。</p> <p>(2) 今年度の検討課題について (ア) 専門部会で実施する内容の検討</p>				

以下の2点を柱に取り組んでいく。

(i) 地域課題の抽出・整理・分析・解決策の検討を行う

地域課題の抽出・整理・分析を、昨年度までの相談支援部会では個別支援会議を実施するという方法を通して実施してきた。

一方で、個別支援会議を経ずとも、地域課題として既に認識されている課題があり、その課題について整理・分析し解決策を検討するという方法もあるという意見があった。

これらを受けて以下のとおり意見交換を行った。

地域課題をメゾ・マクロの視点で検討するにあたり、検討する参加者が「共通言語」をもって検討するためには、個別支援会議という手段を用いてミクロの視点での検討からメゾ・マクロの視点に発展させることは有効である。

しかし、個別支援会議を行うことで年間スケジュールの2回分の部会を要してしまうことや、個別支援会議の実施だけでは地域課題の抽出・整理・分析のみで終わってしまい、解決策の検討と解決に向けた取り組みまで発展しづらいといった懸念がある。

今年度は、昨年度までの相談支援部会で抽出・整理・分析してきた地域課題についての解決策を検討することに時間をかけた方が良いという意見もでた。

結果として、これまで抽出してきた課題の解決をすることを目的に、その手段として1回は個別支援会議を実施することになった。また、個別支援会議を経ずとも検討できる課題については検討していくことも確認した。どちらの方法も、地域課題の抽出・整理・分析のみに留まらず、「課題解決の方法を考えること」までを目標とする。

(ii) 相談支援体制の検証を行う

これまでの相談支援部会でも継続して検討してきた内容であるが、解決方法を明確にしづらく、かつ永続的に検証を続けられない課題である。

昨年度は基幹相談支援センターの検証・評価の一環として、現状の確認を行った経過がある。

今年度の検証については、基幹相談支援センターを中心とした相談支援体制の評価や、相談支援事業におけるサービス等利用計画の評価を行っていく方針となった。

(イ) ワーキンググループで実施する内容の検討

ワーキンググループの位置づけとして、1年未満の期間の中で、具体化できた解決方法もしくは解決方法につながる作業を行う組織と

いう確認を行った。また、設置については、各専門部会で設置の提案をして、運営会議にて設置が承認される。

今年度は、昨年度の相談支援部会で抽出・整理・分析を行い、解決策として策定したアクションプランの実現に向けたワーキンググループの設置が既に運営会議にて承認されている。このワーキンググループの始動については第2回相談支援部会にて確認しすぐに始動していく予定。

(3) 年間スケジュールの確認

年6回の部会を基本として、必要に応じて作業部会を実施していく。

(4) 各委員・担当の選出

(ア) 作業部会メンバーの確認

作業部会メンバーは、固定の委員を決めるのではなく、作業部会で検討する内容によってメンバーを決めていくことになった。また作業部会にも、適宜オブザーバーの参加依頼を行っていく。

(イ) 編集委員の選出

後日、部会長・事務局より別途相談することになった。

(ウ) 副部会長の選出

伊藤委員が選出された

(エ) オブザーバーの参加について

今後の部会には区職員（地域福祉課・地域健康課等の職員）にもオブザーバーとして参加してもらう方針で依頼をしていく。それにあたり、参加依頼方法について意見交換を行った。

その結果、今年度は、年間を通じての参加依頼を行うことを基本とすることとなった。また、第2回以降の専門部会にて年間スケジュールの確認を行い、各回のテーマに応じて特定の回のみに参加を依頼するオブザーバーも決めていくことになった。

(5) 部会名の決定

今年度の部会名は「相談支援部会」とすることになった。

5 次回日程

令和元年7月24日（水）9時30分～12時00分

障がい者総合サポートセンター 5階 多目的室